

諮 問 書

札幌市環循第235号

令和8年（2026年）5月21日

札幌市廃棄物減量等推進審議会

会長 様

札幌市長 秋元 克広



次期札幌市一般廃棄物処理基本計画の方向性について（諮問）

本市では、平成30年3月に札幌市一般廃棄物処理基本計画「新スリムシティさっぽろ計画」を策定し、ごみの排出量を市民1人1日当たり100g以上の減量を目指し、市民・事業者と協力しながら、減量・リサイクルの取組を推進しているところです。

この間、国においては「第五次循環型社会形成推進基本計画」が策定され、一方通行型の線形経済から循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行やプラスチック等の資源循環の推進が示されるなど、廃棄物行政に求められる役割は、より高度かつ広範なものへと変化しております。

また、本市の総合計画「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」では、2Rを中心とした3R行動の促進のほか、ゼロカーボンに向けた取組を推進することとしております。あわせて、少子高齢化や人口減少、物価高騰等の社会経済情勢の変化を踏まえ、将来にわたる持続的かつ安定的なごみ処理体制の構築に向けて検討していく必要があります。

については、次期計画の策定に向けて、専門的な見地から、これまでの取組の評価・検証を行うとともに、こうした諸般の背景を踏まえた今後の計画の方向性について、ご意見、ご議論をいただきたく、ここに諮問いたします。